



よ
す
が

第7回写真「1_WALL」グランプリ受賞者個展

仲田絵美展

2013年6月24日(月) - 7月11日(木)

11:00am - 7:00pm 日曜休館 入場無料

Photography



1_WALL



仲田絵美は身のまわりのことを撮るが、”日常“を撮っているわけではない。そのことは、新作「よすが」によって鮮明になったように思う。

母の遺品をまとい父にシャツターを押ししてもらった彼女の、写真の中に身を投じた、凝固した眼差し。自らを刻みながら、世界に対する触手がふるえるセルフポートレート。「よすが」は、写真の存在そのものであり、仲田がそこから生と死に向けてたどしくも生み出そうとしている関係のことだ。写真家・仲田絵美のゆくえを、私は身をもって見つけたい。

姫野希美（赤々舎代表）



仲田 絵美 Emi Nakata

1988年、茨城県生まれ。

2011年写真ワークショップ 松本美枝子の「キワマリ荘の写真部」を修了したのち、公募展などで作品の発表をはじめ。

2012年、第6回写真「1_WALL」審査員奨励賞(小林紀晴・姫野希美 選)、第7回写真「1_WALL」グランプリ受賞。

十四年前、母が死にました。

我が家ではこれまでの間、母の遺品を保管していました。

しかし去年の父の定年を機にこれらを処分することになり、

私は母の遺品撮影をはじめました。

私が撮った遺品写真

母の遺品を身に纏った自分自身を撮影した写真

また、その姿を父に撮影してもらった写真

など

これらの写真から見えてきたもの。

それが 身や心のよりどころ、

すなわち「やすが」でした。

第7回写真「1_WALL」グランプリ受賞者個展
仲田絵美展「よすが」関連企画

オープニングパーティー | 6月24日(月) 6:30pm - 8:00pm(予定)
イベント | 決まり次第ウェブサイトもしくはtwitterにて告知します。



第7回写真「1_WALL」展
2012年9月18日(月) - 10月11日(木)開催

グランプリ受賞作品「美しい速度で」

審査員 [50音順・敬称略]

秋山伸 (グラフィックデザイナー、パブリッシャー)

鈴木理策 (写真家)

土田ヒロミ (写真家)

姫野希美 (赤々舎代表取締役、ディレクター)

増田玲 (東京国立現代美術館主任研究員)



株式会社リクルートホールディングス ガーディアン・ガーデン
〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビルB1F
TEL 03-5568-8818 <http://rcc.recruit.co.jp/> twitter: @guardiangarden

